

## 国土交通省政策会議（第16回）議事要旨

1. 日時 平成22年3月4日（木）8：00～9：00

2. 場所 衆議院第二議員会館 第4会議室

3. 出席者

【国土交通省】馬淵澄夫副大臣、辻元清美副大臣

長安豊大臣政務官、三日月大造大臣政務官、藤本祐司大臣政務官

4. 議題

○通常国会提出予定法律案について

- ・高速自動車国道法及び道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の一部を改正する等の法律案

○国際コンテナ・バルク戦略港湾検討委員会における検討状況について

○社会資本整備審議会、交通政策審議会、国土審議会の委員改選について

5. 議事要旨

（1）挨拶

（2）議事要旨

○配付資料に沿って説明

○質疑

（3）出席議員からの主な意見

【高速自動車国道法及び道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の一部を改正する等の法律案について】

- ・ 国幹会議を廃止するのは良いが、これまで国幹会議で決定した内容の取扱いはどうなるのか。
- ・ 利便増進事業の整備メニューをスマートIC以外に広げることは大事だが、スマートICへの地域のニーズは強い。地方にとっての必要性は主に2点。1つは、地方では移動手段が車しかない中で、スマートICができれば、高速道路を生活道路として利用できるようになるということ。もう1つは、これまでアクセスが悪かったために生かせなかった観光資源をうまく生かせるようになり、観光振興の努力が報われるようになるということ。その点を踏まえ、スマートICの整備はしっかりやってもらいたい。
- ・ これから整備する高速道路は、ほとんど「既存の高速道路を連絡する高

速道路の新設又は改築」に該当すると思われるが、今後は国幹道を利便増進事業で整備していくということか。

- ・ 財源を変えずに利便増進事業のメニューを広げると、現行の料金割引に影響が出るのではないか。一方で、地元は利便増進事業の実施を当て込んでいるので、それが変更になると地域に与える影響も大きいと思われるが、現行の計画に盛り込まれた事業は今度どうなるのか。
- ・ 利便増進事業にこれだけのお金を使えるのなら、高速道路に見放された地域で、ネットワークがつながっておらず細切れとなっているところを早くつなげることに財源を振り向けた方が良いのではないか。
- ・ 無料化と不採算路線の整備とは、どういう関係になっているのか。
- ・ 外環の青梅街道付近で計画されているICの設置については、間隔が狭いので整備効果もなく、住民も反対しているので、見直してほしいと考えているが、国幹会議で決まったものだからやるということになるのか。

#### 【国際コンテナ・バルク戦略港湾検討委員会における検討状況について】

- ・ (国際コンテナ・バルク戦略港湾検討委員会に限らず) 過去の検討会について、終わった後ではなく、前もって与党議員に説明してほしい。

#### 【社会資本整備審議会、交通政策審議会、国土審議会の委員改選について】

- ・ メンバー等の選定をする前に資料を含め事前の説明がほしい。
- ・ 委員選定にあたり委員の選定基準を示してほしい。

#### 【その他】

- ・ 新聞報道で観光庁の休日分散化がでていたが、発表前に説明すべき。政調が必要という議論も出ている。
- ・ マスコミに情報をオープンにするということであれば、少なくとも同時のタイミングで伝えてほしい。
- ・ 社会資本整備総合交付金の検討状況を次回聞かせてほしい。

～以上～